



自主防うつべ 第39号

発行日:令和6年11月18日
内部地区自主防災協議会 広報部



令和6年度自主防災協議会役員及び各組織

<役員>

会長=東川日出夫
副会長=三谷新市、安藤信治郎
書記=堀川宜典
会計=堀 育夫
幹事=栗本孝則

<各部部長・書記>

- ・防災教育訓練部（23名）
部長=三谷新市
書記=種瀬義一
- ・防災設備部（19名）
部長=浅野広司
書記=栗本孝則
- ・防災広報部（21名）
部長=木立美千代
書記=前田 徹
- ・女性防災部ドリームステップ（8名）
部長=木立美千代
副部長=竹内美保子

<災害対策本部組織（班長・副班長）>

- ・情報班
班長=太田陽康 副班長=井田九三子
- ・連絡調整班
班長=東川 稔 副班長=谷 龍一
- ・救援物資班
班長=藪下秀樹 副班長=高安光夫
- ・ボランティアセンター
班長=飼鳥浩行 副班長=松本隆弘
- ・避難所担当、浄水班
小林正孝、前川典子、出口勝博

<指定避難所組織（リーダー・副リーダー）>

- ・内部小学校
リーダー=田中秀和
副リーダー=竹田孝代・松平弥佳
- ・内部東小学校
リーダー=村山久子
副リーダー=林真由美・竹内美保子
山本美和子
- ・内部中学校
リーダー=佐野 隆治
副リーダー=上杉 真・森井典子

※今年度は
内部東小学校
の避難所運営
は、女性で
やっていただ
くことになり
ました。
CLICK

※11月24日に
予定している内部
地区防災訓練です
が、市長選挙が行
われるかも？とい
うこともあり、
12月1日となり
ます。
CLICK

覚えておこう！2種類のピクトグラム (情報や注意を示すために表示される案内記号)



避難場所

一時的に避難するための場所で、グラウンドや公園が指定される。建物は存在しないもしくは存在していても入れないので要注意！



避難所

建物があり一時に避難生活をおくることができる。学校の体育館や公民館が指定されることが多い。



防災倉庫の中には、何が入っているかな？

皆さんから質問が多い、「防災倉庫の中には何が入っているのでしょうか？」
ということで今回取り上げてみました。

四日市市では、南海トラフ地震の被害想定で算出された市内の避難者定数に基づき、2日分の物資を備蓄しているそうです。

品名	数量	品名	数量
ビスケット等	480食	アルファ米	500食
調理用保存水(500ml)	168本	おむつ各種	
毛布	100枚	簡易トイレ用テント	10
簡易トイレ	10	ハンドマイク	3
救急箱	4	ウォータータンク(350L)	3
汚物収納袋	4	カセットボンベ	96
発電機(ガス)	2	コードリール	4
照明セット	1	プライベートルーム	3
ワンタッチ式パーティション	2	応急給水栓セット	1
エアーマット	45	簡易ベッド	2
マスク(50枚/箱)	2	リヤカー	1

今年も「夏休み子ども防災講座」開催しました♪

防災食も自分で作り、実際に食べてみることにしました。

- ◆実施日時：令和6年7月31日(水)10時～11時30分
- ◆実施場所：内部地区市民センター1階会議室
- ◆参加者：内部地区の子どもさん12名とその保護者
- ◆内容：①自分の防災リュックを作ろう
②アルファ米を作って食べてみよう

「何がリュックに必要か？」を考え、子どもたち自身が必要なものを選んでもらうことになりました。

玉ねぎを選ぶ子、カレー粉を選ぶ子、大きな懐中電灯を選ぶ子、いろいろ悩んで12個を選びました。最後に、これだけリュックに入れてほしい物を紹介をし、詰めることとなりました。

「自分で選んだことが楽しかった。」という声が多く、子どもから、防災の輪が広がり、防災への関心が家庭にも伝われば幸いです。



本日の参加者(12名)と父兄



リュックに入れる物購入風景

- ★避難所へ行くときは？
防災リュックを持って、
行くことが基本ですね！
防災リュックの中身の
例を紹介します。
- 保存水・非常食
 - 簡易トイレ
 - 懐中電灯
 - 災害ホイッスル
 - アルミブランケット
 - モバイルバッテリー
 - 手回し充電ラジオ
 - ウエットティッシュ
 - タオル
 - 着がえ
 - レインコート
 - マスク
 - 救急セット
 - 普段飲んでいる薬
 - 貴重品



令和6年度 消防団消防操法競技大会開催

実施日時：令和6年7月14日(日)

午前8時～11時30分

実施場所：四日市市総合防災拠点

(神前地区寺方町)

仕事が終った後、練習を重ねた内部分団。
1～2分の競技内の凝縮された内容はとても迫力のあるものでした。
結果は5位入賞と素晴らしいものでした。
大会を終えて分団の絆がより一層深まつたと思います。



=出場メンバー(自治会名)=

- 高橋 翔太さん(采女が丘)
加藤 雅貴さん(采女が丘)
堀 雄紀さん(北小松町)
藤田 祐希さん(小古曽町)
古市 健さん(采女町西部)

以上5名の方です。

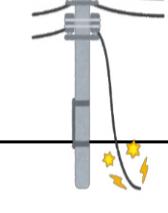
12月1日 内部地区総合防災訓練の日

コロナ過で縮小して行っていた内部地区総合防災訓練を、今年度は以前のように各自治会からも避難をすることとなりました。

※防寒対策・上靴・靴袋は

各自でご用意ください。
CLICK

令和6年度各町春の防災訓練結果（訓練実施結果報告書を基にまとめました）

自治会名	実施日	参加人数	訓練内容	黄色いフェルト実施結果	実施状況の写真
貝家町	5月18日	自治会11名 消防分団5名 市民センター1名 その他51名 合計68名	・応急手当訓練 ・非常持ち出し訓練	124/182	  
泉町	6月2日	自治会 35名	・災害対策本部運用訓練 ・避難、誘導訓練	51/126	  
采女が丘	6月8日	自治会20名 消防分団4名 合計24名	・初期消火 ・応急手当訓練	—	 
采女町西部	6月9日	自治会118名 消防分団5名 女性防災5名 合計128名	・初期消火 ・応急手当訓練	140/376	  
南小松町	6月9日	自治会 98名	・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練	—	 
采女町南部	6月9日	自治会30名 消防分団3名 合計33名	・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練	—	
采女町中部	6月9日	自治会49名 消防分団4名 合計53名	・初期消火 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練	159/269	  
小古曽町	6月16日	自治会84名 消防分団4名 市民センター5名 消防署5名 合計98名	・初期消火 ・災害対策本部運用訓練 ・避難、誘導訓練 ・炊き出し訓練 ・消火栓使用訓練	—	  
高塚町	6月16日	自治会886名	・黄色雨フェルト安否確認訓練	188/302	 
波木町第二	6月23日	自治会10名 消防分団6名 合計16名	・初期消火 ・応急手当訓練	—	 
北小松町	6月29日	自治会 23名	・防災研修会（能登半島地震の体験談を基に座学の研修会）	—	 
中堀町	6月4日	自治会66名 消防分団4名 合計70名	・初期消火 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・避難行動要支援者対策訓練	—	  
波木町第三	6月4日	自治会 13名	・避難誘導訓練	—	
森力山	7月22日	自治会 12名 その他 7名 合計 19名	・初期消火 ・避難誘導訓練	—	